

報告書

令和 年 月 日

氏名 _____ 印

(裁判資料として用いることがございますので、可能な限り具体的かつ正確にご記入ください。また、紙面が不足する場合は、別紙を作成し(形式は問いません)、本書面末尾に添付ください。)

第1 事故状況について

1 あなたが事故に遭った状況をご記入ください。

(例：青信号の横断歩道を歩いて渡ろうとしたところ、相手の車が対面の方角から右折してきて、私に衝突しました。)

2 おけがについて

今回の事故により、あなたの身体はどうなって、どの部分をどのように負傷したかなどをご記入ください。

(例：衝突で、相手方車両前部のバンパー部分が私の左腰付近に当たり、転倒し、右肩と右手をアスファルト路面に強く打ちつけた。)

第2 現在の症状について

今回の事故によって、現在、お身体のどこの部分に、どのような症状（痛み・しびれ、麻痺、関節の動かしにくさなど）が生じているのか、症状が生じている部位ごとに、具体的に（例：頸部付け根右側から右肩の痛み、左腕肘の小指側から中指から小指にかけてのしびれ等）ご記載ください。

① 部位 _____

症状 _____

② 部位 _____

症状 _____

③ 部位 _____

症状 _____

④ 部位 _____

症状 _____

⑤ 部位 _____

症状 _____

第3 装具の着用について

本件事故後、ギプス・カラー・コルセット・サポーター・固定帯等の固定装具の使用や、松葉杖、車いす等を利用された場合、その固定装具等の種類及び使用期間をご記載ください。

装具等の種類	使用期間						
	年	月	日	～	年	月	日
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

第4 事故前のお仕事について

- 1 お勤めの開始時期と勤務日、勤務時間

(例：H18年1月～ 平日9時～6時まで)

R・H・S 年 月～ 時～ 時まで

- 2 事故前のお仕事の内容 (例：車による営業、社内事務作業等)。

- 3 具体的な業務・作業内容についてご記入ください。

(例：両手を使ってエアコンを屋内上部に設置する等)

- 4 その作業の際に使用する主な身体の部分と運動
(例：両手を水平より上に挙げたり、腕に負荷がかかる。)

第5 事故後、現在のお仕事について

今回の事故によって、現在、困難もしくは作業効率が落ちた業務・作業、その程度、理由をご記載ください（業務に復帰していない場合は、困難と思われる作業等についてご記載ください）。

第6 現在の日常生活上の不都合性について

本件事故による症状のため、現在、労働以外の日常生活上、困難・不都合になったこと、その内容・理由についてご記載ください（例：右手の痛みのため、右手で頭を支えて横になることができなくなった。手や肩の痛みのため運動ができず、スポーツジムを辞めた。）

第7 既往症

本件事故以前に、本件事故による症状やこれに似た症状を発症したことや、その症状のため、治療を受けたことはありますか。

・ない

・ある（時期、症状、診断名、事故直前の症状の状態につき、以下に具体的に記載ください。）

時期 年 月ころ～ 年 月ころ

症状 _____

診断名 _____

事故直前の症状 _____

以上、ご協力ありがとうございました。